

残胃癌に対して外科治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データ／検体(血液、尿)の調査研究への使用のお願い】

神戸市立西神戸医療センター外科・消化器外科では「残胃癌に対する低侵襲手術の有用性・妥当性の検討、多施設共同後ろ向き観察研究」という臨床研究を行っております。この研究は、【残胃癌の手術における腹腔鏡手術やロボット手術といった低侵襲手術の周術期成績や長期予後を開腹手術と比較することで、低侵襲手術の有用性と妥当性を検証する】ことを主な目的としています。そのため、2014年2月1日～2020年12月31日まで当院で残胃癌に対する手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データ／検体（血液、尿）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は神戸市立西神戸医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究期間は以下のとおりです。

調査対象期間：西暦2014年2月1日 ～ 西暦2020年12月31日まで

データ収集期間：倫理委員会承認後 ～ 西暦2023年8月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに残胃癌に対する手術を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、検体（血液、尿）です。

○過去のデータ（具体的に記載）／検体（血液、尿）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は神戸市立西神戸医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、神戸市立西神戸医療センター外科・消化器外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。）

もし今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、西暦2021年8月31日までに、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

神戸市立西神戸医療センター 外科・消化器外科

研究責任者：伊丹 淳

Tel. 078-997-2200 (代)